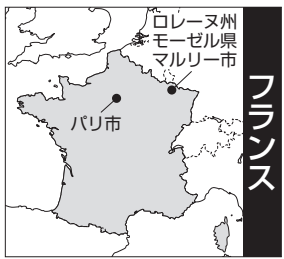


# 姉妹自治体を 募集しています

このコーナーでは、日本の自治体との姉妹提携を希望する海外の自治体を紹介しています。今回は、フランス共和国ロレーヌ州モーゼル県マルリー市、トルコ共和国コジャエリ県チャイロバ、モンゴル・ボルガン県ヒシグウンドルソム、エチオピア連邦民主共和国ハラリ州ハラール及びオロミア州アダマ市を御紹介します。ここで御紹介している各自治体との交流を希望される場合や、更に詳しい情報が必要な場合は、当協会交流支援部交流親善課までお気軽にお問い合わせください。

**フランス共和国・ロレーヌ州  
モーゼル県マルリー市**  
人口…10,139人 面積…10.8km<sup>2</sup>



**フランス**  
(地勢・産業など)  
フランス北東部、ドイツとの国境沿いに位置するロレーヌ州モーゼル県の県庁所在地メッス (Metz) に隣接する人口およそ二万人の都市。パリからTGVで一時間二〇分、ストラスブールから車で一時間半、ルクセンブルクからは車で四五分などと、交通の便の良さから国内外の交流が盛んな市です。マルリー市は、紀元前後のローマ人入植のころに作られた都市に起源を持ちますが、



↑マルリー市役所

近年はメッス都市圏として商業が盛んな地域として発展しています。良好な交通アクセスに恵まれていることから、現在、市内に六つのビジネスゾーンを設定し、オフィスパルなどのビジネスインフラ整備を行い企業の誘致を行っています。  
一方、一九世紀に建てられたサン・ブリス教会に加え六つもの古城が残っているなど文化遺産が多いだけでなく、市内を流れるセイユ川沿いを中心として美しい歴史的な景観や豊かな自然景観が多く保持されています。また、人とモノの活発な交流に伴う文化的な交流活動も盛んです。マルリー市は、ヴァイサツハ・イム・タール市 (ドイツ) とマイスキー市 (ロシア) と姉妹都市提携を結び国際的な

**トルコ共和国  
コジャエリ県チャイロバ**  
人口…約80,000人



**トルコ**  
(地勢・産業など)  
チャイロバはイスタンブールの東方にあるコジャエリ県内に位置し、市内に二〇〇以上の工場がある人口約八万人の工業都市です。(サビハ・ギョクチェン国際空港までの距離は約二〇km、アタチュルク国際空港までの距離は約七五km)  
市内の工場では多くの人が働いています (主な工業分野は自動車と化学)。  
また、当該地域で課題となっている地震対策について、日本の経験を学びたいと考えています。

交流を行っています。また、音楽では定期的にコンサートを開催しているマルリー市交響楽団の本拠地であることに加え、マルリー・ジャズ・フェスティバルが毎年開かれています。  
(希望交流内容)  
文化・経済交流を中心とした自治体交流を希望しています。  
↑冬のマルリー市。奥に見えるのはマルリー市のシンボルでもあるサン・ブリス教会



↑冬のマルリー市。奥に見えるのはマルリー市のシンボルでもあるサン・ブリス教会

(希望交流内容)

文化、科学技術交流を希望しています。

## モンゴル・ボルガン県 ヒシグウンドルソム

人口：約3,000人



モンゴル

(地勢・産業など)

ヒシグウンドルソム(郡)は首都ウランバートル市から約三〇〇km西に位置しており、面積は二四万五〇〇〇㎡、ボルガン県で最大のソム(郡)で、その十二％は森林地帯、残りは草原地帯となっています。自然が豊かで、多くの野生動物や様々な魚介類が生息しています。

人口の約四割は郡の中心部で生活しており、世帯数は約九〇〇、人口比率は青年が三八％、子供が二〇％となっています。

主産業は牧畜で、一五万頭以上の家畜が飼育されており、馬乳酒の品質がモンゴル国内で有名な郡の一つです。羊毛を利用して、ウール、カシミア関係の企業を起こすこと、乳製品、特に、山羊のチーズ等を日本の技術で生産することを希望しています。

農業については、余剰農用地が約七〇〇〇haあり、小麦、野菜等の栽培を共同で行ってくれる先を探しています。

観光関係については、近辺は観光資源が豊富で、山と草原がある景観の素晴らしいところ。ヤクという家畜がたくさん、放牧

されており、その毛は稀少衣料品となるほか、そのミルクは濃厚で珍重されています。

(希望交流内容)

人材・文化交流を

通じて、相互理解と

ともに、日本の技術・資

本と同ソムの資源を合

わせた新しい相互発展

の基礎をつくることを希望しています。



↑ヒシグウンドルソムの草原地帯

## エチオピア連邦民主共和国 ハラリ州ハラール

人口：約183,000人

エチオピア

(地勢・産業など)

ハラールは、エチオピア東部にある古い城郭都市で、現在はハラリ州の州都です。一六世紀につくられた、「ジュゴル」と呼ばれる五つの門を持つ城壁は、ハラールのシンボルとなっています。また、城壁内には八二のモスクが存在し、「イスラムにおける第四の聖地」とされています(歴史的な町並みはユネスコの世界遺産にも登録されている)。

世界的に有名な「アラビカ・コーヒー」の

原産地でもあり、その輸出はエチオピア経済を支えています。

(希望交流内容)

文化、観光、教育、能力開発、環境保護・衛生、都市開発に関する行政情報を希望しています。

※「世界の地域から」(P27〜P30)を参照

## エチオピア連邦民主共和国 オロミア州アダマ市

人口：約222,000人

エチオピア

(地勢・産業など)

アダマ市はオロミア州の州都であり、アフリカ大地溝帯に沿って、緑の丘と豊かな農地の間に位置し、標高が海拔一六〇〇〜一七〇〇メートル。雨の量が少なく、穏やかな気候に恵まれています。

市内には、少数の大中製造業と多数の小企業があります。製造業の業種は多様で、トラクター組立工場、石けん工場、食用油工場、紡績・衣服工場などがあります。小企業の主な業種は、食・木材・金属加工です。

(希望交流内容)

産業振興、インフラ設備・発展、教育・研修、情報技術等を希望しています。

※「世界の地域から」(P27〜P30)を参照